

若者世代が参加できる「街づくり」について

稲葉 剛治

問 若者世代が「考える事、創る事、提案する事」が出来る機会」の創出について。

答 市長 若い方たち自らが積極的にならざるに、参加し、企画提案していくものであると考える。そのような若い方達からの提案があった場合、できる限り支援していきたい。

問 若者をはじめ市民に意見を募集するようなコンペ方式のような事は出来ないか。

答 市民生活部長 市民活動団体と市が協働して課題を解決しようとする「協働事業提案制度」の準備を進めている。このような制度の活用を検討してほしい。

◆災害時のアレルギー患者の対策について

問 災害時のアレルギー患者への対策状況、今後について。

答 市民生活部長 食品衛生法等に定められた食品表示がされている備蓄食料を購入する等アレルギーがある方の避難生活に配慮していく。一方、

食物アレルギーは多種多様であり、アレルギーのある方が、自らの症状と摂取する食物に対するリスク管理をして頂く事も必要と考えている。

吉川市役所建設は最小限の床面積とし、少ない金額に再検討を

齋藤 詔治

問 今日のエコ不況・先の見えない社会状況です。今は大きな建物を造るより、先ず市民への行政サービスが大事です。予定している新庁舎規模8200㎡を4千㎡ほど、概算事業費35億円を17億円に縮小しては如何か。

安心・安全・活力あるまちづくりに向け、行政執行者として、再検討をお願いします。

答 市長 当市としては、基本構想に示した新庁舎建設が最善の策であり、建設推進には、将来にわたるライフサイクルコストの抑制に努めて参ります。

◆美南小学校建設外構工事の入札不調は如何したのか

問 本年8月、10月、11月に行われた一般競争入札は、全体2社のみの参加で不調。そ

の後3つの工区にての分離入札は、1工区再不調等。なぜこんな結果になるのか。市民の税金で実施するのである。公正で公平な入札であったのか。

江戸川堤防を「森と林」に

伊藤 正勝

問 江戸川、中川、大場川。国の予算で整備が進む。これをまちづくりに活用する。江戸川は堤防強化のため、全面的にのり面が2倍以上に拡幅される。深井新田には「県の森」として550本の植樹。企業の協賛で別途1千本のど

んぐりの苗木も。この機会に堤防全体を森や林にする夢を描いて、一歩先んじて踏み出してはどうか。

答 市長 植林や管理については地元が協力して育て、できるだけ自然にちかい形でという考えだ。吉川市域だけでも8キロ。市としても民間の活

用や地域の協力で進めていければと考える。今後の課題だ。

問 新庁舎建設。取り組みの基本的考えを確認したい。

答 総務部長 3月までに基本計画案を策定。その後再度市民の意見を求め、基本計画をもとに基本設計、実施設計。26年度に着工。28年度竣工に向け準備する。まず庁舎の位置、スペースや本来の役割を踏まえた配置。その上で議会棟を含め、多目的な利用についても、夜間、休日の活用も視野に総合的に検討を進めることになる。

吉川駅前及び駅周辺の歩道の段差解消を

加藤 克明

問 吉川駅前や駅周辺の歩道は、平板ブロックや目の不自由な方のための点字ブロックに段差がある。安全を確保するため、早期の段差解消を。

答 都市建設部長 駅前や駅周辺は景観に配慮した平板ブロックを活用した歩道整備をしており、平板ブロックや点字ブロックは構造的に経年劣化などにより、段差やガタつき

などが生じることもある。支障のある箇所については、12月末までに補修をしていく。



経年劣化による段差の解消を

◆中川河川改修について 問 中川河川改修に伴う多目的広場について、その後の計画は。

答 都市建設部長 以前より江戸川河川事務所に広場として整備要望を行ってきた。他にも、階段や傾斜路、歩道やグリーンベルトの設置、速度、徐行などの注意喚起の看板、防犯灯の設置など要望は把握している。現在、堤防工事が行われ、完成後の旧堤防の撤去や河道の掘削は整備状況を見て行うため、整備時期は未定。河川敷の利用については、整備状況を常に把握し、適正な時期に調整していく。